

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)8月5日号 No.1932

目次

■ 2023年上半期の日ロ貿易	1
■ 統計速報	10
2023年1～6月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／10	
■ トピックス	11
日野カザフスタン、アスタナ支店を開所／11	
ウズベクと中小企業の進出支援に関する覚書締結／11	
対ロ禁輸品目に乗用車など750品目を追加／11	
東洋埠頭、カザフに子会社を設立／11	

2023年上半期の日ロ貿易

はじめに

本稿では、日本財務省の貿易統計に基づいて、2023年上半期の日本とロシアの貿易に関して、データを取りまとめたので、若干の解説とともに紹介する。

なお、本資料では財務省発表の円表示の貿易統計を独自にドル換算して示している。その際に、図表2と6は年平均レートで単純換算しているのに対し、その他の図表は月ごとの為替レートで換算した数値を積み上げている。従って、各図表は総額が微妙にずれているのでご注意いただきたい。

また、ロシア以外のNIS諸国との2023年上半期の貿易額速報値を今号の統計速報のコーナーに掲載しているのので、あわせてご参照いただきたい。

解説

日ロ貿易の概況 2023年上半期の日ロ貿易は輸出が18億387万ドル(前年同期比25.8%減)、輸入が42億6,412万ドル(同53.0%減)、輸出入合計で60億6,798万ドル(同47.2%減)となった(図表1)。昨年2月末のロシアによるウクライナ侵攻を受けて、対ロ貿易をめぐるビジネス環境は一変した。対ロビジネスに従事する日本企業は、①国際法を犯してウクライナを侵略したロシアで活動することに伴うレピュテーションリスク、②G7を中心とする西側有志諸国による大規模な経済制裁、③それに対するロシア政府の対抗措置といった数々の障害に直面し、多くの日本企業が通常のビジネス活動を行えない状態になった。その影響が貿易面ですぐに現れたのは、輸出においてである。図表1にみるように、ウクライナ侵攻直後の2022年3月から輸出は急激な落ち込みをみせた。他方、